

## 令和 2 年 第 1 5 回 教 育 委 員 会 会 議 録

招集年月日	令和 2 年 7 月 6 日
招 集 場 所	日南町役場 第 2 会議室
開 会	午後 3 時 教育長宣告
出席委員	中島教育委員 中村教育委員 西村教育委員 山脇教育委員
欠席委員	なし
議 案	第 2 7 号 令和元年度決算審査について 第 2 8 号 令和 2 年度日南町教育費 7 月補正（第 4 号）予算について 第 2 9 号 日南町の子ども教育在り方検討委員の委嘱について

議 事 日 程		議 事 の 経 過
日程その他	発 言 者	発 言 の 要 旨
事業報告及び 行事予定	教育長 教育長 教育長	第 1 5 回教育委員会を開会します。 *資料により説明 議事録署名委員は山脇委員。
日程第 1 議案第 2 7 号	教育長 事務局 教育委員 事務局 教育委員 教育長 事務局 教育委員	日程第 1 議案第 2 7 号令和元年度決算審査について *資料により説明 教員住宅については、補正で落としておくべきではないか。 緊急修繕のため残しておいた。床がだめになって張り替えた。 それにしても、4 9 . 7 %は低すぎる。 修繕は 4 月のうちにしておいた方がよい。 出納閉鎖は 5 月だが、減額補正には間に合わない。 出納閉鎖までに、減額補正すべきではなかったか。いらぬなら、計上するなというのが議会の考え。 多く余りそうなところは、減額しておくこと。

日程第 2  
議案第 28 号

教育長	教員住宅のあり方を考えていく必要がある。全部残すのか、町の管理にするか。教員住宅の安さ（5,000円）もどうか。1名は教員、あとは町民が入居している。執行率の問題もあるが、入居者の問題もある。
教育委員	途中退所はどういう理由か。
教育長	住宅の機能がよくないということで出られた。
教育委員	旧小学校の教員住宅はどうなっているか。資産管理はどこか。
事務局	建設課が管轄となっている。
教育長	公設塾の講師も入居している。役場職員の扱い。
教育委員	もう教員住宅はいらないのでは。
教育委員	エアコンもないというのはどうか。
教育長	もう一度、検討する必要がある。
教育委員	教員が利用していない教員住宅というのはどうか。再度、議論の必要がある。
教育長	金額設定も含めて、再度教育課として協議していく。教員住宅のあり方について再考したい。令和元年度決算について承認を求める。
教育委員	異議なし。
教育長	日程第 2 議案第 28 号令和 2 年度日南町教育費 7 月補正（第 4 号）予算について
事務局	* 資料により説明
教育長	6 月末に分かり、7 月補正に審議した。9 月末までが期限。1 億使ってあとは余る予定。学びを止めないということで環境整備に費やしていく予定である。
教育委員	用途の制限はあるか。
教育長	枠の中で選ぶということ。何でもいいというわけではない。
教育委員	いらない物を買う必要はない。
教育長	大学生の支援とか、そういうことはどうかという意見もあったが、間に合わなかった。また、ご意見があれば 9 月補正なので計上したい。7 月補正について承認を求める。
教育委員	異議なし。

日程第3  
議案第29号

教育長  
事務局  
教育委員  
教育委員  
教育長  
教育委員  
教育長  
  
教育委員  
教育長  
教育委員  
事務局  
教育委員  
  
教育長  
教育委員  
  
教育長  
教育委員  
教育長  
教育委員

日程第3第29号日南町の子どもの教育在り方検討委員の委嘱について  
\*資料により説明  
委員の構成について、前回の在り方会議には教育委員は入っていたが、この中に入ると承認すべき立場であるにおかしくなる。オブザーバーとして教育委員はあるべきである。  
前回は、小学校統合が大きなテーマだった。今回は、保育園からどうつないでいくかということになる。義務教育学校という答申となるとどうなるか。  
今まで、保育園から中学校まで一体化になってなかった。校長の考えで変わっていくのがこれまでだった。今回、接続のところを協議していただきたい。一貫なのか義務教育学校なのか。  
期待する反面、すぐに義務教育学校となると町民がついていけない。  
12月に答申がでる。本来この4月から教育課に保育園が入る予定だった。義務教育学校に一気にいくのは難しい。  
多忙なメンバーで、どのように会をもつか。  
リモート会議でやるつもりである。  
15人、一気にできるのか。  
双方向でできるシステムがある。  
コミュニティ・スクールは令和4年度から立ち上がる。在り方検討会で出されたことが、あまりにもかけはなれたことだったら、現場はとまどうかもしれない。在り方検討会でどのようなところを求めるのか、何を求めるのか、今あることとどうつながっていくのか。  
平成19年の答申を読んでもみると、理念は全く変わっていない。地域と学校の関連が不十分だったということが読み取れる。平成19年の頃の検証が必要。コミュニティ・スクールと連動している。  
検討された内容が、直接携わっている人だけでなく社会教育も含めて、地域全体に示されなければ答申だけ出されてもうまくいかない。地域の人にも何らかの形で伝えてほしい。  
情報共有のあたりで何かあるか。  
そこに丁寧に対応していかないと地域住民はとまどう。  
広報も大事。啓発は大事だと思っている。  
12月で答申が出たら終わるのか。

教育長	はい。短期でやる。情報をどう発信するか検討したい。
教育委員	町民理解をどう深めるか。座長とも相談してほしい。
教育長	町長が諮問するという形をとる。このことから、PR していく。教育委員はこの中に入らないと確認したい。
教育委員	オブザーバーとして。要請があればいく。
教育委員	コミュニティ・スクールなのか、在り方検討会なのか分からないが、高校生や大学生にかかわってほしい。若い人が参加できるような体制をとってほしい。
事務局	在り方検討会は1 2月までだが、コミュニティ・スクールはずっと続いていくもの。ここで、中学生などと地域の方とが意見交換する場があってもよい。中学生が、実際、日南町をどう思っているのか、どうなってほしいのか、ぜひ地域のみなさんと一緒に考えてほしいと思っている。高校生、大学生、若い人の意見も大事にしたい。
教育委員	高校卒業したあとのこともつながっていくといい。0～18歳までをコミュニティ・スクールで考えていくのもある。
教育長	高校生をからめていくのは、工夫が必要。まなびや縁側も5名の高校生がいる。コミュニティ・スクールの中に高校生が入ると広がっていく。
教育委員	大学生などに意見を聞くシステムが必要。成人式だけでなく、年間を通して意見をもらうシステムもあればいい。
教育長	ネットワークを考えたい。
教育委員	若者は若者でネットワークをもっている。素地となる部分が欠けていたのかも。小さい時からの地域とのかかわりが薄かったのでは。
教育委員	町を考えてくれる若い人の意見を聞く方がよい。
教育長	若者がどういった支援がいるか、聞いてみたい。 この議案に承認いただけるか。
教育委員	異議なし。

協議・報告

事務局	○いじめ・不登校について *資料により説明
事務局	○小学校の対応について
教育委員	いかにも大変な状況だ。現場はあまり慌ててない感じも受ける。打開策はあるか。議論しておきたい。何から取り組んでいくのがいいのか。
事務局	小学校に出向いて改善策も一緒に考えている。暴言などをまず食い止めることが第一。一定の成果はみえているようだが、まだまだある。逸脱行動などは家庭に連絡して帰宅させるといった情報共有はできているが、実際どうだったのか、確認はできていない。よくなったところは、先生方に返していくこともやっている。先生方もがんばっているのだが、無力感につながっている。子どもたちの主体性を育てること、自主的な行動をすすめていくよう学校には指導している。
教育委員	あの状態で解決できるか不安。タイムリーに小学校から報告があがっているか。
事務局	小学校は、細かく口頭で報告がきている。なかなか全体がうまく回っていない状況。
教育委員	うまくいかない悩み、空気。先生方に対するフォローがいる。我々はどうするか。
教育長	学校の主体が育っていない。暴言などを止めるのが第一だが、何が暴言なのか。職員同士で共有できていない。絶対許せない言葉を見える化するとか、軸を同じにすることがどうしてできないか。先生と子どもの距離が近いかどうか。子どもは先生に不信感をもっているのでは。子どもへの叱責だけで終わってないか。
教育委員	ベテラン教員はできていて若い教員に教えるのが普通。ところが、ベテランのクラスも若い教員のクラスも同じような状態である。
事務局	これが日南の伝統だと言っている子どももいると聞いている。その価値観の中で生活しているので抜け出せない。
教育委員	長休憩から授業にすぐに取りかかれない子どもがいるのが問題。手遅れになるような気がする。保護者や地域の方にかかわってもらえるのがいいのでは。バスの運転手さんはよく状況が分かっておられる。バスの運転手さんに怒ってもらったことがある。
教育委員	バスの運転手さんは困っておられる。路肩にバスを停めて子どもたちに注意されることもあるようだ。
教育委員	大人はこわくないと思っている。

教育委員	先生たちは何をしようとしているのか分からない。先生方の取り組みが分からない。ほったらかしなのか。廊下に出ても先生方が注意しないのはなぜか。先生たちの取り決めは何か。
教育委員	「にちなんノート」に60件と言われていた。うまく活用していないと言われた。1つのことでもケース検討したらいい。
教育委員	授業中、6年女子が「こんなこと意味がない」と言っていた。授業後、その児童に聞いているか。子どもたちの思いに寄り添えているか。子どもたちに対する「本気度」がみえていない。昨年度とは違う姿。日南尾の文化にしてほしくない。
教育委員	まじめな子もいる。やりたい放題やらせている感じ。
教育長	保護者にどう、この状況を伝えているか。クラスによって温度差がある。先生が保護者の前で言う言葉に違いがあると思う。
事務局	子どもも固定化している。分析しながら保護者にも話をしている。子どもたちの行動を大きく変えることは難しい。
教育委員	自分の目標が立てられない。それを評価しながら1つずつステップをつんでいくことは難しいのだろうか。保護者は、自分の子どもは悪いと思っているが、どうしていいか分からない。学校からの助言がない。事実だけは伝えられるが、こんな風にしましように具体的なことが学校からない。
教育長	学年の集団をどうつくるか。個々の対応は良い。一人一人はいい子。集団になると機能してない。集団作りをやっていかなければ。どの学年も同じではない。
教育委員	普段、見ない人が学校にくるといい子になるのだが。誰が来てもあの状況は異常な状況だ。
教育委員	モデルもない、上級生からの注意もない。
教育長	現在、英語の授業も成り立ってない。子どもたちの思いをどう崩すかが問題。中3を見て育てている。
教育委員	読み聞かせも動いていない。こんな時こそ、読書だと思っただが。
教育委員	先生がどうしていいか分からないのでは。誰がどう動いたらいいのか。
教育長	とりあえず、やるしかない。夏休みに意見交換をすることができる。先生たちがまず、何をすべきかを話し合うこと。
教育委員	運動会をきっかけにしたい。
教育委員	半日しかないが。

その他	教育委員	過程が大事。
	教育長	学校からの報告をきちんと聞いて指導したい。2学期につながる夏休みを有効に使いたい。
	教育委員	県教委に助けを求めてもよい。
	事務局	○コミュニティ・スクール、保育園の動向について *資料により説明
	事務局 事務局	○ふる里まつりの開催方法について 実行委員会を開催して協議を行った。作品展示を中心に行うこととなった。 ・芸能発表大会は、開催困難 ・中学校のステージ発表は、実施 ・食のバザールは、実行委員会で持ち帰り協議
	教育委員	先日、事業のメ切について、教育課のある方は「期限を守ってください」と言われ、ある方は「一週間ぐらい延びてもいい」と言われた。同じ課内で違うことを言われるのはおかしい。人によって対応が違うのはいけないと思う。
	教育委員	先日、山上線のデマンドが頼んでなかったようだ。事務主幹の車で送ってもらったようだ。今後、ないようにしてもらいたい。 ○教育委員会の開催予定について 第16回 8月 日 ( ) 詳細は、後日連絡します。 以上で第15回教育委員会を閉じます。

会議の経過を記載し、相違ないことを証するためにここに署名する。

日南町教育委員会 教育委員